

-----4月19日-----

今週のアウトルック(4/19~4/23)

クロス円を中心に、週明けから大きく上昇気流に乗るかのように感じられた動きでしたが、終わってみればクロス円はさほど変わらず、ドル円は円高が進んだ週でした。

ギリシャ情勢やゴールドマンサックスの報道が、テクニカル的な調整をより助長する形になっています。全体としてはまだ円安トレンドが崩れるまでには至っていないように思うのですが、今週が大きな分かれ目なのかもしれません。

ドル円はテクニカル的には3月頭からの上昇分の1/3戻しといったところまで来ています。半戻しの91円あたりを死守できれば、再び上昇基調に戻ると考えています。円高を大きく後押しするような報道がない限り、基本的には押し目買いスタンスで良いように思います。

ドル円の予想レンジは91円から95円です。

ユーロ円も先週末の2日間で振り出しに戻ってしまった感じです。結果的にはギリシャ情勢の悪化に水をかけられてしまった感じですが、128円ラインの強い抵抗感を感じます。CDSとファンダメンタルズ的な弱気を利用して、売り仕掛けを行っているトレーダーが多いのかもしれません。ただ、ショートポジションがかなり積みあがっていることには変わりはありませんので、少しでも落ち着いた兆候が見えれば一気に盛り返す可能性もあるように思います。

予想レンジは124円から128円です。

ポンド円はユーロに比べると、上昇力が強いように感じます。大きなユーロ安要因が報道されなければ、上昇トレンド再開となる可能性が高いように考えています。

予想レンジは141円から145円です。

全体的にギリシャ情勢の行方次第ということになってしまうのかもしれませんが、ただ、目新しい情報はそろそろ出つくして、織り込み済みスタンスで売り方を吸収できる状況になっても良い頃のようにも感じるのですが、センチメンツ的にはもう少し時間がかかるのかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。